

コンパクトクールキット 取扱説明書

(3フィン)

製品番号 07-07-0258

取り付けマウント位置：ヘッドライト下
オイル取り出し位置：オイルフィルターユニット
ホース：ラバーホース

適応車種	クロスカブ 50 (AA06-1000001 ~)
	クロスカブ 110 (JA45-1000001 ~) (JA60-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎アルマイト製品は経年変化等により、色褪せる事があります。予めご了承下さい。

◎オイル量は通常規定オイル量に約 40cc 追加して下さい。

◎オイルクーラーのホースがフロンカバーに干渉する為一部加工が必要になります。

◎弊社 SP 武川製エンブレムキットと同時装着は出来ません。予めご了承下さい。

～特徴～

○冷却効果に優れたコンパクトクールを取り付ける事で、エンジンボアアップに伴う油温上昇を抑える事が出来ます。

○コンパクトクール本体は、オイルクーラープレート、ガードを標準装備。

○専用のオイルフィルターカバーによるオイル取り出し口を利用したオイルクーラーキットです。

○コンパクトクールは3フィン仕様を採用しています。

○純正フィルターカバーと同様リリーフバルブ機構を備え、さらにネオジウムマグネットを設置していますのでエンジンオイルに混ざった鉄粉を吸い寄せます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

■ガスケット、パッキン類は、必ず新品を使用して下さい。又、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

■走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。（エンジン損傷の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

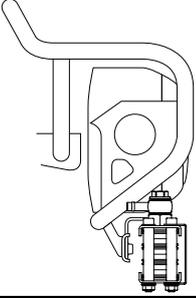
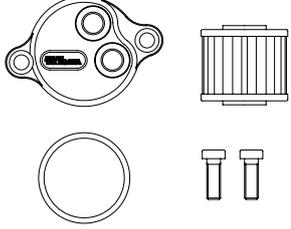
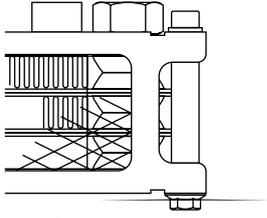
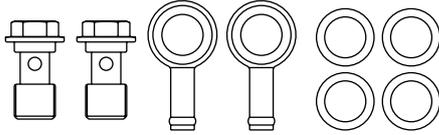
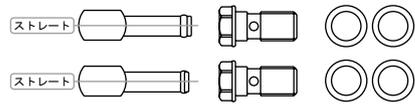
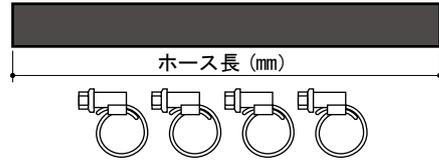
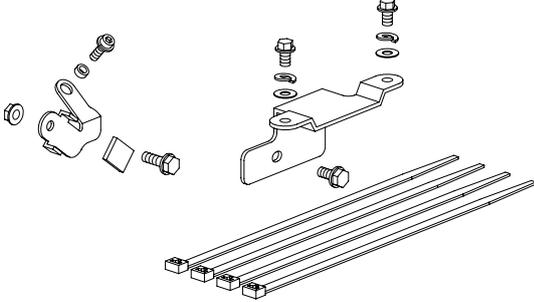
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

	<p>製品内容：部品の詳細は各キットの説明書、及び製品ラベルでご確認ください。</p>	
<p>オイルクーラー取付け場所：ヘッドライト下マウント</p>		
<p>製品名 / キット品番</p>		
<p>コンパクトクールキット (ラバーホース) (オイルクーラーユニットオイル取り出し) 07-07-0258</p>		
<p>オイル取り出し口</p>	 <p>オイルクーラーユニット (07-07-0268)</p>	
<p>オイルクーラー本体</p>	 <p>コンパクトクール 3フィン (00-07-0124)</p>	
<p>バンジョー フィッティング (オイルクーラー側)</p>	 <p>バンジョーセット (M12/ラバーホース用) (00-07-0047)</p>	
<p>バンジョー フィッティング (オイルクーラー ユニット側)</p>	 <p>フィッティングアダプターセット (ラバーホース / ストレートユニオン) (00-07-0147)</p>	
<p>ホース (ホース長)</p>	 <p>ホース長 (mm)</p> <p>ラバーホースセット 2000mm (00-07-0014)</p>	
<p>オイルクーラーステー (ヘッドライト下マウント)</p>	 <p>オイルクーラーブラケット (07-07-0417)</p>	
<p>ストッパーカラー</p>	 <p>ストッパーカラー (00-04-0164) ※クロスカブ (JA60) には使用しません。</p>	

■対象製品 コンパクトクールキット（ヘッドライト下マウント） 組み付け事項

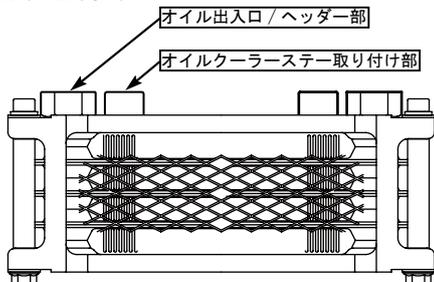
対象クラッチカバー ノーマルクラッチカバー

■オイルクーラー本体
オイル出入口の方向と組み付け

■オイルクーラーのオイル出入口の方向を確認
○下図のようにオイルクーラスター取り付け部とオイル出入口が上になっているか確認します。

（弊社出荷時は下図の様になっています）

弊社出荷時



■バンジョー、バンジョーボルトの組み付け

○オイルクーラー本体のオイル出入口に下図Aの順（シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャ、バンジョーボルト）で仮止めします。

⚠注意 オイル出入口にはズレ防止用の溝があります。（下図B）この溝にシーリングワッシャを確実に収めて下さい。溝に収めていない状態で、組み付けるとオイル漏れの原因となります。

図 A

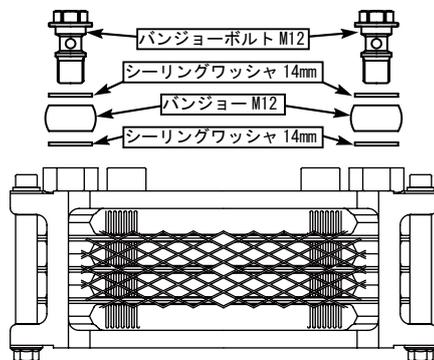
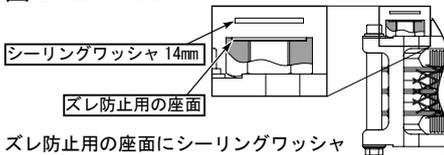


図 B（座面断面図）



■バンジョーボルトのトルク締めについて

○オイル取り出し口とホースを接続し、ホースの取り直し確定後に規定トルク締めを行います。

⚠注意 バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

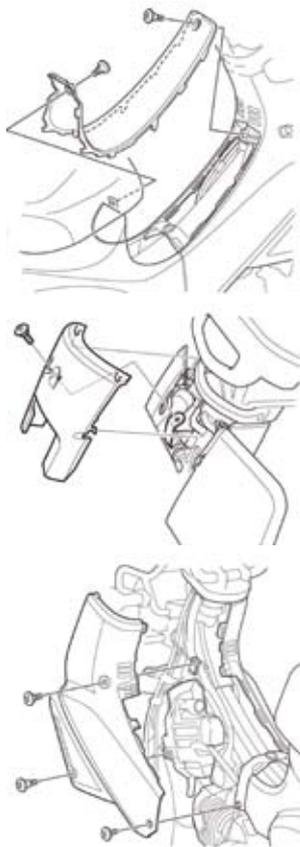
■オイルクーラスターとオイルクーラー本体の組み付け

■純正部品の取り外し

○サービスマニュアルを参照し外装部品を取り外します。



○(1) メインパイプセンタカバー、(2) フロントカバー、(3) メインパイプカバーを取り外します。

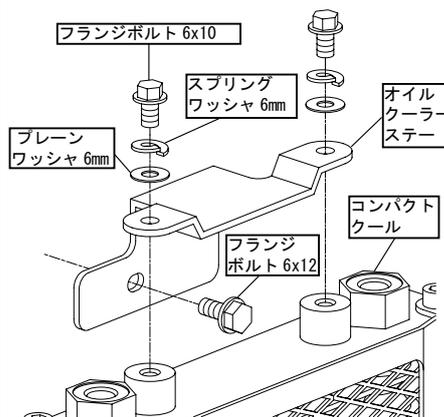


■取り付け

○ホーンを取り外します。

○ホーンが付いていた箇所にオイルクーラスターをフランジボルト 6x12にて取り付け、オイルクーラスターにコンパクトクール（以下オイルクーラー）をフランジボルト 6x10、スプリングワッシャ 6mm、プレーンワッシャ 6mmにて取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



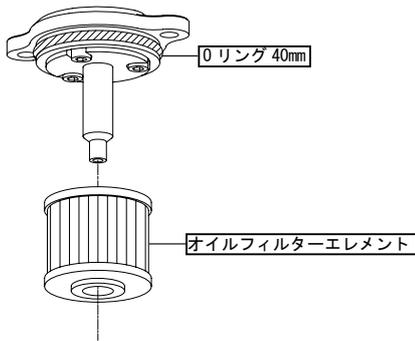
■対象製品 **ラバーホース** 組み付け事項 コンパクトクールキット (ヘッドライト下マウント)

対象クラッチカバー ノーマルクラッチカバー

■オイルクーラーユニットの組み付け

■純正部品の取り外し

- 車両を安定させた状態にします。
- ボルト2本を取り外し、オイルフィルターカバーを取り外します。
- ※オイルが漏れるのでオイル受けを用意します。
- 純正のオイルフィルタースプリング、オイルフィルターエレメントを取り外します。
- ※純正品のオイルフィルタースプリングとオイルフィルターエレメントは再利用しません。
- オイルクーラーユニット COMP. にOリング40mmを取り付け、オイルフィルターエレメントを差し込みます。
- (オイルフィルターエレメントは裏表どちらの向きでも構いません。)
- ※オイルのにじみ等の原因となる為、ケース内に残っているオイル及びOリング当たり面のオイルを拭き取って下さい。



- Oリング40mmに薄くオイルを塗布し、低頭6角穴付ボルト2本を用いてオイルクーラーユニットCOMP.をR.クランクケースカバーに取り付けて下さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

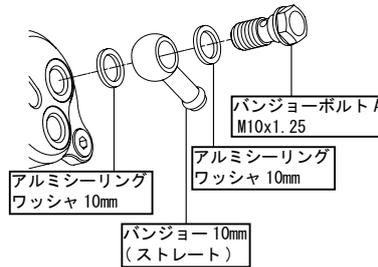
低頭6角穴付ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- ⚠注意：Oリングは分解毎に必ず新品と交換して下さい。
(再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

■バンジョーボルト / バンジョーの組み付け

- ホースの取り回しが出来たらオイルクーラーユニットCOMPにバンジョーM10(ストレート)をアルミシーリングワッシャ10mmで挟み、バンジョーボルトA M10x1.25で締め付けます。
- ※エンジン始動後はオイルクーラーやオイルクーラーユニット等が高温になりますので十分注意して下さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルトA M10x1.25
トルク：15N・m (1.5kgf・m)



■ストッパーカラーの取り付け ※クロスカブ110(JA60)は必要ありません。

- クロスカブ50(AA06) / クロスカブ110(JA45)は、ブレーキペダル位置が車両個体差により変化し、オイルクーラーユニットのバンジョーとブレーキペダルとのクリアランスが少なくなる又は、干渉する車両が存在します。その様な場合、ブレーキペダル調整の為にストッパーカラーを取り付けます。(クリアランスに問題が無い場合にはストッパーカラーの取り付けは不要です。)
- マフラーを取り外し、メインスタンドを利用している場合は、一旦メインスタンドを下ろし、サイドスタンドを利用し車両を安定させます。
- スイングアームピボット部のピボットサイドプレートを取り外します。



- リアブレーキピボットシャフトを若干引き出し回転させます。ブレーキペダルを踏み込んだ状態にし、ストッパーカラーの切り欠き部をブレーキペダルボス部に合わせ、フレームのリアブレーキピボットシャフトが取り付けられていたロッド部に差し込みます。



- ブレーキピボットシャフトに差し込んだストッパーカラーをブレーキペダルにきっちり当たる位置にセットしソケットセットスクリューにネジロック剤を塗布し取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットセットスクリュー
トルク：5.9N・m (0.6kgf・m)



- 取り外しと逆手順に引き出したリアブレーキピボットシャフトを押し込みリアブレーキピボットシャフトの穴にメインスタンドシャフトカラーを合わせ、ピボットサイドプレートを取り付け、フランジボルトを規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：27N・m (2.8kgf・m)



- リアブレーキのアジャストナットを緩めブレーキペダルの遊び量を調整します。
ブレーキペダルの遊び：20～30mm
- サービスマニュアル又はご使用しているマフラーの取り扱い説明書に従い組み付けます。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■ラバーホースの組み付け

- バンジョー、バンジョーボルトを仮付けします。
- 対象となる弊社製オイルクーラーキットを装着し、ラバーホースの適切な長さを求めます。ラバーホースを適切な長さにカットする為、ホースを仮付けし、長さを測ります。ホースの取り回しにかかる長さに加え、各バンジョーへ差し込む長さが必要になります。長さを計測後、ラバーホースをカットします。ラバーホースにホースクランプを通し、オイルクーラー本体側のバンジョーとオイル取り出し口側のバンジョーに差し込みます。オイルホースは他の部分と著しく干渉しない様に取り回しを行い、オイルクーラー本体側のバンジョーボルトを締め付けます。
- ※必ずオイルホースがエキゾーストパイプ、スロットルボディ等一部の部品に接触しない様取り回しを行って下さい。必要に応じて結束バンド 150mm を使用して下さい。

⚠注意 バンジョーボルト締め付け時は、オイルクーラーヘッダー部分に必ずスパナ等を掛けて固定して下さい。最後にホースクランプを締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
オイルクーラー本体側のバンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

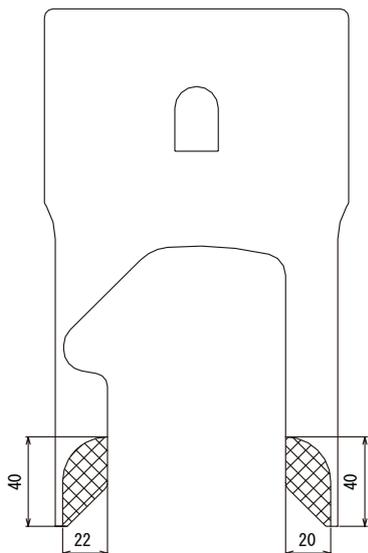
- ホースのねじれや折れがないか確認し、ホースクランプを締め付けます。ホースを束ねる必要がある場合は、ステークキット付属の結束バンドをご使用下さい。

ラバーホース装着状態



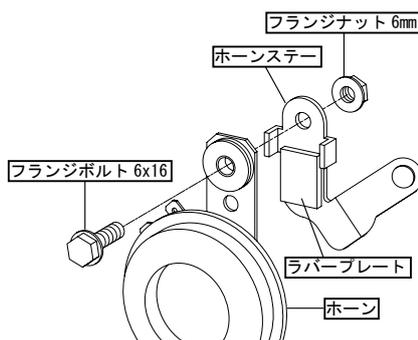
■外装類の組み戻し及び加工作業

- 取り外した外装部品を逆手順で組み戻します。※フロントカバーは加工するので、取り付けは最後に行います。



- ホーンステーにラバープレート（両面テープ付）を貼り付け、フランジボルト 6x16 とフランジナット 6mm にてホーンを取り付けます。（ラバープレートはホーン裏面のクッションラバーに干渉しない位置に貼り付けます。）

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



- スペーサーをセットしてホーンステーをフランジソケットキャップスクリュー 5x15 にて取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジソケットキャップスクリュー
トルク：5N・m (0.5kgf・m)



■オイル量の調整

- ホーンに配線を接続します。
- 40cc 程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約 1 分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充して下さい。